中学校体育における学業的援助要請と失敗観の関係
－勤勉さに焦点を当てた多母集団同時分析による検討－

山根　佑景（兵庫教育大学大学院）

Ⅰ．はじめに

教科としての体育は，運動やスポーツを通した身体の使い方や道具操作などが主たる学習内容であり，できる・できないといった優劣が周囲に即時に公開されるといった特徴を持っている(伊藤ほか，2013)．そのため，技能習得が十分でない生徒は失敗に対し，不安を感じ，失敗を回避することが考えられる．失敗の捉え方には、なぜ失敗したか考える者もいれば，失敗を恥ずかしいことと考える者もいる．このように学習場面における個人の失敗の捉え方を失敗観という(池田ほか，2012)．したがって体育授業で起こる失敗を生徒がどのように捉えているか理解することは重要である．

学習過程において学習者が他者に助言を求める行為のことを学業的援助要請という(野崎，2004)．失敗を不安に思う生徒は，依存的援助要請または援助要請を回避する傾向がある(藤田，2010)．しかし，生徒の援助要請がどのような失敗観を高めているか十分な検討はされていない．

ところで，自ら学びに向かう力を非認知能力と呼び，教育において重要視されている(ベネッセ 2016)．勤勉性は非認知能力の一つであり，努力し続ける能力と定義されている(村瀬，2017)．特に，体育学習場面で勤勉性の高い生徒は，失敗しても諦めず努力することで，技能が向上するといった学習成果をあげるといわれている(村瀬，2016)．

このように失敗観，援助要請行動，勤勉性は失敗という共通概念をベースに発展しており，生徒一人ひとりの勤勉性の違いが，体育授業における援助要請と失敗観に異なる影響をもたらす可能性があると考えられる．

そこで本研究では，体育授業における学業的援助要請と失敗観の関係に生徒の勤勉さの違いがどのような影響を与えるのかについて検討することを目的とした．

Ⅱ．方法

1)調査対象：中学生 1235 名を対象に，質問紙調査を実施し，分析には 1216 名(有効回答率 95.6%)を用いた．

2)調査内容：①体育勤勉性尺度(村瀬ほか，2017)は，1 因子 5 項目，②援助要請尺度(瀬尾ほか，2007)は，2 因子 11 項目，③失敗観尺度(池田ほか，2012)は，4 因子 24 項目を使用した．

3)統計解析：勤勉さ得点高群，中群，低群による援助要請と失敗観の関係について，多母集団同時分析を実施した．

Ⅲ．結果

1) 勤勉さ得点による群分け

本研究では，勤勉さ得点をもとに勤勉さ高群，中群，低群の 3 群に分けった結果，勤勉さ高群(n=405)，勤勉さ中群(n=404)，勤勉さ低群(n=407)となった．

2) 各群に着目したモデル検証

まず，勤勉さ低群・中群・高群による多母集団同時分析を行った結果，適合度は GFI=.85，AGFI=.82，CFI=.90　RMSEA=.03 であり，基準を満たす良好な値であった．3 群に共通して，自律的援助要請から，失敗からの学習可能性に正の影響を示した(高群：β=.38，中群：β=.39，低群：β=.45)．

勤勉さ高群は，依存的援助要請から失敗回避欲求，失敗の発生可能性に正の影響(順にβ=.15，β=.25)を示した．勤勉さ中群は，依存的援助要請から失敗からの学習可能性に負の影響(β=-.14)を示した(図 1)．

Ⅳ．考察

3 群に共通して「自律的援助要請」は「失敗からの学習可能性」に有意な正の影響を示した．これは，勤勉さ高群，中群，低群すべての生徒において，自律的援助要請を行うことで，失敗が学習の発展に繋がるという考えが高くなることを示唆している．自律的援助要請を選択する生徒は，できない部分を明確にし，他者に解決のヒントを求め，それを参考に自分の力で課題を解決し，自身の成長に繋げることを大切にしている．そういった生徒は，失敗しても，その原因や修正点を自身で吟味し，課題解決を目指している．そのため，体育授業で起こる失敗を恥や不安を喚起させるものではなく，自己成長に繋がる新たな学習を生み出すものとして捉えている可能性がある．

また，勤勉さ高群・中群の生徒が依存的援助要請を行うことで，高群は失敗を避けようとする価値観が高まり，　中群は失敗を学習の発展に繋がるという考えが低下することを示唆している．そのため，高群は，失敗を周囲に周知されたくないため，失敗を可能な限り避けようと消極的な行動を取ることや，中群は，失敗をしても他者の解決方法が中心となるため，失敗が自己成長するうえで重要なものではないと捉えている可能性がある．

Ⅴ．まとめ

体育授業において，どの群も自律的な援助要請を行うことで，失敗することを学習の一部として捉え，失敗してもそれを糧に修正しながら自己成長していこうと考えている可能性がある．しかし，勤勉さ中群や高群が依存的な援助要請を行っている場合，失敗に対して否定的な価値観を持つことが考えられる．

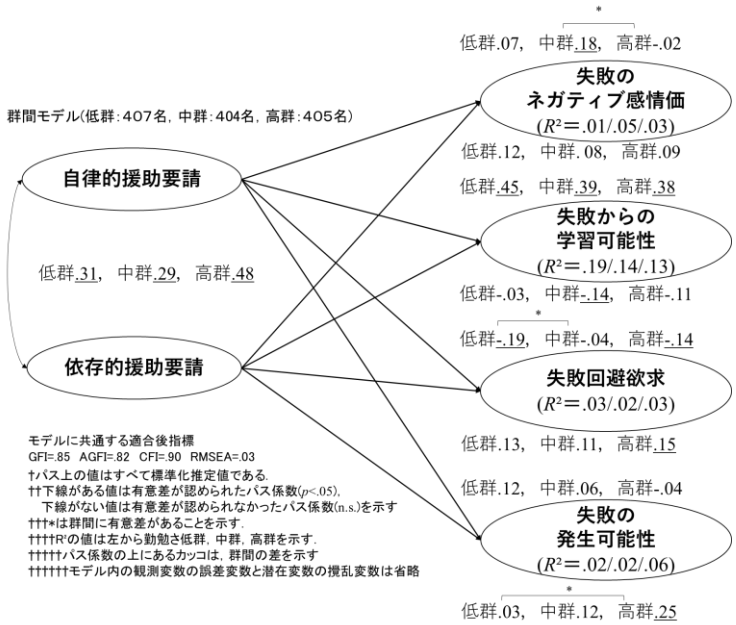

図 1 勤勉さ低中高群の学業的援助要請と失敗観の関係